



玉名市、和水町との包括連携協定に基づく『災害時の相互応援に関する協定』の締結

「日本マラソンの父」と呼ばれ、箱根駅伝の創設者でもある故金栗四三氏(1891～1983)の縁により結ばれた熊本県玉名市並びに和水町と、包括連携協定に基づき防災分野の連携を強化するため、令和5年12月20日に3市町により「災害時の相互応援に関する協定」を締結しました。

防災対策の推進

自主防災活動の防災意識の啓発を行う。

自然災害対策

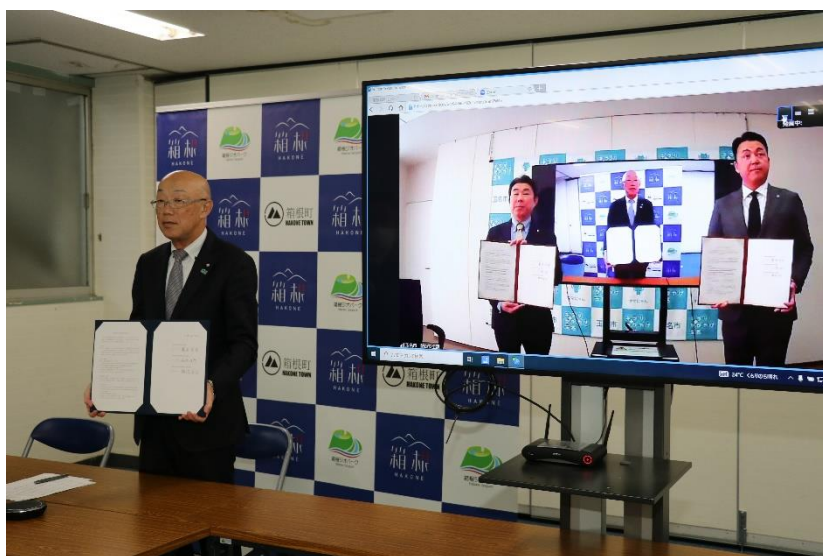
火山や大雨等の自然災害に備え、災害対策及び防災意識の啓発を行う。

防災対策の総合的な推進

自然災害等から町民や観光客等を守るため、関係機関と協力し、防災対策を推進する。

玉名市、和水町及び箱根町のいずれかで大規模な災害が発生した際に、被災した市町の災害対応を円滑に行うために下記の通り様々な応援を行います。

- ・食料、水その他生活物資、資器材の提供
- ・救助、救護及び防疫に必要な資器材、物資の提供
- ・応急対策、復旧活動に必要な職員の派遣
- ・相互のホームページ等による災害情報の代理発信
- ・その他、必要な事項



令和5年12月20日、箱根町役場と玉名市役所の会場(玉名市長、和水町長参加)をWEBで繋ぎ、オンライン締結式を実施しました。

担当部署:総務防災課 防災対策室【TEL:0460-85-9561 / Mail:bousai@town.hakone.kanagawa.jp】